

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	JFE精密株式会社 リニューアル第1期リニューアル工事 新潟県新潟市東区鷗島町6番1の一部 工業専用地域 工場, 2019年4月 竣工 7,322.97 m ² 3,231.05 m ² 3,231.05 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2019年3月20日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53.1}{53.1} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.1		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.0
			設備の更新性	Q2.3.3	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

建物の維持管理に配慮し、使いやすい建物となるように計画します。省エネ法対象部分がありませんが、外壁の断熱性能に配慮し、熱負荷抑制を図ります。また、躯体材料以外ではエコ建材の採用を積極的に行い、資源環境への取組に配慮します。

CASBEE新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新業)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JFE精密株式会社 リニューアル第1期リニューアル工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市東区鷗島町6番1の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	150 人
地域区分	5地域	年間使用時間	7,200 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 竣工	評価の実施日	2019年3月20日
敷地面積	7,323 m ²	作成者	阿部 信之
建築面積	3,231 m ²	確認日	2019年3月22日
延床面積	3,231 m ²	確認者	阿部 信之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 既存工場を別敷地へ建て替える計画です。敷地東側には県道東港横越線があり、周囲は既存建物に囲まれた敷地であることから、建物を西側へ配置時、道路への景観及び既存環境にできるだけ配慮して建設します。		その他 特になし
Q1 室内環境 工場としての機能性を確保し、衛生面・安全面の充実を図る計画としています。照明器具には高効率LEDを採用し、照度分布に配慮した計画としています。	Q2 サービス性能 耐久性に考慮し、高耐久の材料を設定しました。また、使いやすさを考慮した空間を確保しています。	Q3 室外環境(敷地内) 現状の環境を損なうことが無いように計画し、街並みへ影響が最小限となるように配置計画を行いました。
LR1 エネルギー 工場用途のため、省エネルギー法対象外の部分がほとんどですが、外皮性能に配慮し、断熱性を確保しました。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材の使用に配慮しています。	LR3 敷地外環境 東側道路から距離をとって建物を配置し、周辺地域に配慮した計画としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される